

日本言語技術教育学会入会の御案内

日本言語技術教育学会は1992（平成4）年1月に創設されました。第1回創立大会は学習院大学で開催されました。国語教育界に一石を投じるため、11名の有志が立ち上がり、旗揚げをが行われました。創立大会には、250名以上の参加者を得ました。初代会長は学習院大学教授・波多野里望氏でした。波多野里望氏の「大学教師」「法律の研究者」「図書館長」「財団法人の理事長」「国際化の担い手の一人」という経歴は本学会の性格を象徴的に物語っています。波多野氏は第5回大会開会挨拶で次のように述べています。「本学会の大きな特徴の一つは、『すべての会員が、年齢・性差・師弟関係等を超えて、相互に忌憚なく批判し合える』という点にあると、私は考えている。」これは本学会の伝統として引き継いでいる特徴です。

本学会の発起人になったのは、以下の諸氏です。（アイウエオ順、肩書きは当時のまま）井関義久氏（横浜国立大学教授）、市毛勝雄氏（埼玉大学教授）、宇佐美寛氏（千葉大学教授）、江部 満氏（国語教育研究所常任理事）、大内善一氏（秋田大学教授）、大西忠治氏（都留文科大学教授）、岡本明人氏（上武大学講師）、渋谷 孝氏（宮城教育大学教授）、野口芳宏氏（木更津市立波岡小学校教頭）、波多野里望氏（学習院大学教授）、向山洋一氏（大田区立雪谷小学校教諭）。創設に際し、上記の11名の発起人が「波多野里望編著『なぜ言語技術教育が必要か』1992年明治図書」にて、問題提起を行っています。この書には、「日本言語技術教育学会」創立に向け、発起人全員により「呼びかけ文」を起草するまでの議論の経緯が詳細に報告されています。例えば、この書で野口芳宏氏は次のように述べています。「この学会には、教師以外の各界のプロの参加を強く呼びかけたい。」これも引き継いでいきたい本学会の特徴です。全国民に資する言語技術教育を創造していきたいという大志です。

是非、本学会へ入会し、国民の言語技術を高める教育をともに創造しましょう。

なお、本学会は入会金だけで会員になれます。次の口座へ入会金3,000円を一度入金するだけで、会員の資格が得られます。それ以降の年会費は不要です。

ゆうちょ銀行「記号19700／番号16017741 ニホンゲンゴギジュツキョウイクガツカイ」

ゆうちょ銀行他金融機関「店名九七八／店番978／預金種目普通預金／1601774」

入金後、下記事務局へ住所、氏名、勤務先をEメールでお知らせください。

以後、大会案内や事務局通信をEメールでお知らせします。（事務局通信は学会HPに掲載しています。<http://nggkg.net/>）多くの方の入会をお待ちしています。

令和5年7月1日

日本言語技術教育学会会長 柳谷直明

nihongengogizyutukyoikugakkai@gmail.com

令和5年度学会事務局 〒088-3341 北海道川上郡弟子屈町字屈斜路260番1

弟子屈町立弟子屈小学校内 日本言語技術教育学会 事務局長

渥美清孝（弟子屈町立弟子屈小校長）

E-mail k8m8y2@gmail.com